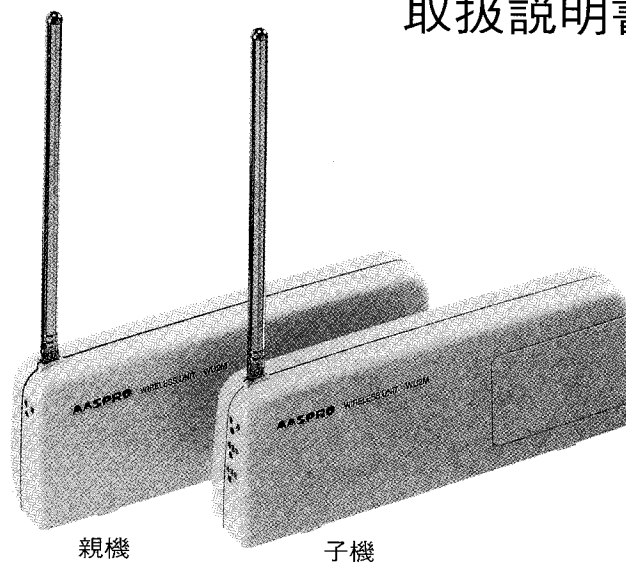
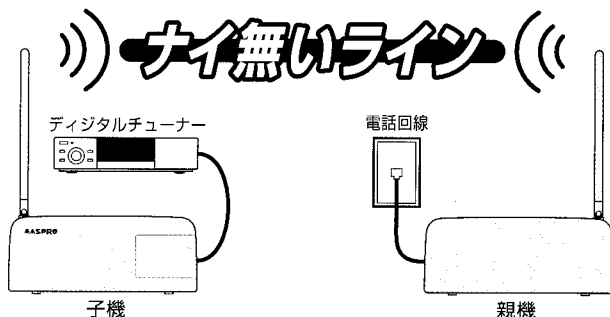
ワイヤレスユニット（電話回線用）

WIRELESS UNIT
WU2M
AC100V 方式

取扱説明書

ワイヤレスで電話回線とディジタルチューナーが接続できる通信ユニットです。
BS ディジタルチューナー，CS ディジタルチューナーの近くに電話用モジュラーコンセントが無いときに便利です。

使いやすい機能

コンパクト設計

親機・子機とも幅 185mm，厚さ 34mm と非常に小形ですから，わずかなすき間に，らくらく設置できます。

簡易電話機能

子機のイヤホンマイク端子に，携帯電話用のイヤホンマイクを接続すると，電話機として使用できますから，電話回線がない場所で発信専用の電話としても使用できます。（着信機能はありません）

接続可能チューナー

● BS ディジタルチューナー

メーカー	型式
マスプロ電工	BDT300,BDT500
三洋	TU-DT1
シャープ	TU-HD1
ソニー	DST-BX100
東芝	TT-D2000
日本アンテナ	BST-HD1
パイオニア	SH-DT1
日立	BS-DH2000
ビクター	TU-BSD1
松下	TU-BHD100
三菱	UT-HX1
八木アンテナ(日立国際電気)	BTD10
DXアンテナ	DIR-200

● CS ディジタルチューナー

メーカー	型式
マスプロ電工	CDT22SP, CDT200SP CDT210SP, CDT500P CDT520P, CDT550JP CDT560SP, CDT570SP
アイワ	SU-CS7
シャープ	TU-DS30
ソニー	DST-SD5
東芝	CSR-P1, CSR-P2, CSR-A2 CSR-A3, CSR-B3, CSR-B4
日本アンテナ	CST-P3
日立	CS-SP80
松下	TU-DSR46
八木アンテナ(日立国際電気)	CTPJ10, CTPJ30
DXアンテナ	DIR20, DIR40

上記の BS ディジタルチューナー，CS ディジタルチューナーは，当社の標準的な環境で接続確認をしたものです。（2001 年 4 月 1 日現在）

●ご使用の前に，この「取扱説明書」をよくお読みください。
●お読みになったあとは，保存してください。

安全上のご注意

ご使用の前に，この『安全上のご注意』をよくお読みください。

絵表示について

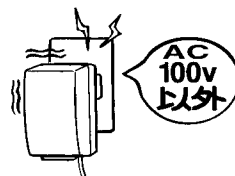
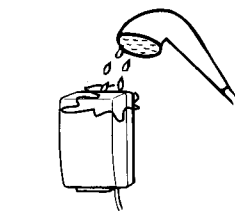
この『安全上のご注意』と『取扱説明書』には，製品を安全に正しくご使用いただき，ご使用になる方や他の人への危害，財産への損害を未然に防止するために，いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は，次の通りです。

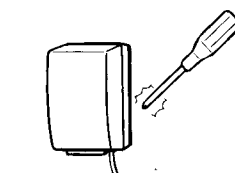
警告	この表示を無視して，誤った取扱いをすると，人が死亡，または，重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して，誤った取扱いをすると，人が傷害を負う可能性が想定される内容，および，物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

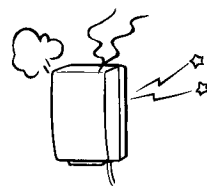
絵表示の例

	△ 記号は，注意（警告を含む）が必要な内容があることを示しています。 図の中に注意内容（左図の場合，警告または注意）が描かれています。
	⃠ 記号は，禁止の行為を示しています。 図の中や近くに禁止内容（左図の場合，分解禁止）が描かれています。
	● 記号は，行為を強制したり指示する内容を示しています。 図の中に指示内容（左図の場合，ACプラグをACコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告

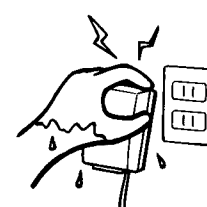
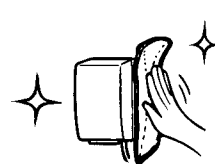
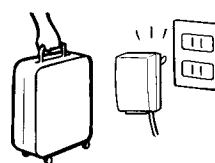
● AC100V以外の電源電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

● 本器およびACアダプターを，風呂場・シャワー室で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● 本器およびACアダプターに水を入れたり，濡らしたりしないようにしてください。AC アダプターの上に，薬品や水の入った容器を置かないでください。水や薬品が中に入った場合，火災・感電の原因となります。ペットなどの動物が，ACアダプターの上に乗らないようにご注意ください。尿や糞が中に入った場合，火災・感電の原因となります。

● 本器およびACアダプターのカバーを外したり，改造をしたりしないでください。また，ACアダプターの内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は，販売店にご依頼ください。

⚠警告

● 万一，煙が出ている，変な臭いや音がするなどの異常状態のまま使用すると，火災・感電の原因となります。すぐにACアダプターをACコンセントから抜き，異常がなくなるのを確認して，販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は，危険ですから絶対におやめください。

● 雷が鳴出したら，ACアダプターには触れないでください。感電の原因となります。

⚠注意

● 医療機器の近くで使用しないでください。本機の発する電磁波が，医療機器に影響を与えることがあります。医療機器の近くで本機を使用する場合，必ず医師の使用許可を受けてください。

● 濡れた手で，ACアダプターを抜差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

● お手入れは，安全のため，必ずACアダプターをACコンセントから抜いてからおこなってください。感電の原因となることがあります。

● 旅行などで，長期間使用しないときは，安全のため，必ずACアダプターをACコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

● ACアダプターのACプラグは，ACコンセントに根元まで，しっかりと差込んでください。すき間があると，ゴミがたまり，火災の原因となることがあります。また，ACアダプターは，定期的にACコンセントから抜いて，ACプラグを掃除してください。

各部の名称と機能

親機と子機の形は似ています。底面に張ってあるラベル（型式名の後）または表示灯の数（親機：1個，子機：3個）で区別してください。

親機　モジュラーコンセントに接続します。

子機　BSディジタルチューナー，CSディジタルチューナーに接続します。

電　源
通信中
通信可

通信可表示灯（赤）
データ通信が可能なときに点灯します。
（ディジタルチューナーが通信を始めるとき，または，[通信]を押したときに点灯します。）

通信中表示灯（黄）
親機と子機が通信中のときに点灯します。

電源表示灯（緑）

アンテナ

ダイヤルボタンカバー

イヤホンマイク端子
イヤホンマイクを接続して電話機として使用できます。

チューナー端子
ディジタルチューナーと接続します。

DC12V端子
付属のACアダプターを接続します。

ダイヤルボタンカバーは矢印の方向に開けます。

ダイヤルボタンカバーの中

1 2 3 4 5 6 7 8 9 ＊ 0 ＃　通信　切

通信ボタン
- 子機の設定で使用します。
- 電話をかけるとき，このボタンを押してからテンキーを押してください。

テンキー

切ボタン
- 子機の設定で使用します。
- 電話をかけ終わったとき，必ず押してください。

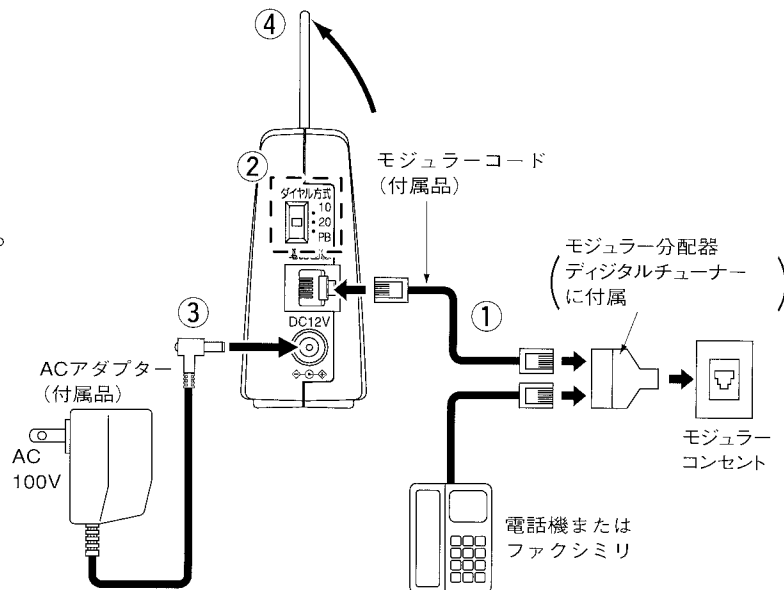
※これらのボタンは通常は使用しないため，ダイヤルボタンカバーを閉めておいてください。

親機の設定

①モジュラーコンセントと接続する。
- モジュラーコンセントに,ディジタルチューナーに付属のモジュラー分配器を接続します。
- 付属のモジュラーコードで親機の「電話回線端子」とモジュラー分配器を接続します。

② ダイヤル方式選択スイッチを切換える。
- 電話機のダイヤルボタンを押したとき,
  - 「ピポパ…」という音がするときはトーン。(PB)
  - 「カタカタ…」という音がするときはパルス。(10または20)

（パルスは，まず 20（PPS）に設定して，接続できないときは，10（PPS）に切換えてください。）

③ ACアダプターを接続する。
- 「DC12V端子」に，付属のACアダプターを接続します。
- 「電源表示灯」（緑）が点灯していることを確認してください。

④ アンテナを垂直に立てる。

ご注意
アンテナが垂直に立っていないと，通信できないことがあります。

子機の設定

① ダイヤルボタンカバーを開ける。

② ディジタルチューナーと接続する。
- ディジタルチューナーに付属のモジュラーコードで子機の「チューナー端子」とディジタルチューナーの電話回線端子を接続します。

③ ACアダプターを接続する。
- 「DC12V端子」に，付属のACアダプターを接続します。
- 「電源表示灯」（緑）が点灯していることを確認してください。

④ アンテナを垂直に立てる。

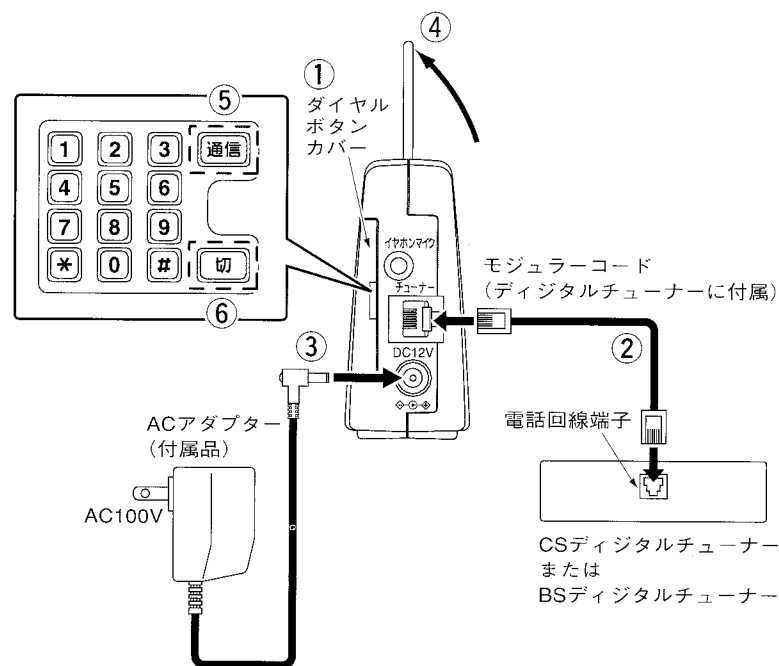
ご注意
アンテナが垂直に立っていないと，通信できないことがあります。

⑤ [通信] 押す
- 「通信中表示灯」（黄）と「通信可表示灯」（赤）が点灯していることを確認してください。

「通信可表示灯」（赤）が点灯していないときは，子機と親機の位置を動かして，点灯する場所を選んでください。
（通信可能距離は見通し距離で約40mです）

⑥ [切] 押す
- 「通信中表示灯」（黄）と「通信可表示灯」（赤）が消灯します。

ご注意
通話が終了したら，必ず [切] ボタンを押して通話の終了処理をおこなってください。終了処理をしないと，ディジタルチューナーの有料放送の料金管理や，モジュラー分配器に接続している電話機が使用できなくなります。

⑦ ダイヤルボタンカバーを閉める。

接続テスト

親機・子機の設定が終ったら，電話回線の接続テストをしてください。

●接続テストは，ディジタルチューナーの「電話回線テスト」，「導通確認」などの機能を使います。
電話回線の接続と，設定が正しくおこなわれているかを確認してください。

詳しくは，ご使用のBSディジタルチューナー，CSディジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。

BSディジタルチューナーBDT500の場合 （リモコンで操作します）

① BSディジタルチューナーの電源を入れる。

●「はじめての設定」画面になっていることを確認してください。

●「はじめての設定」画面になっていないときは，BSディジタルチューナーの取扱説明書にしたがって操作してください。

② ⇕で「電話回線設定」を選ぶ。

決定 押す。

③ ⇕で「ダイヤル方式」を選ぶ。

決定 押す。

④ ⇕で「10PPS」を選ぶ。

決定 押す。

ご使用の電話回線の種類に関係なく，必ず「10PPS」を選んでください。

⑤ ⇕で「電話回線テスト」を選ぶ。

決定 押す。

テストの結果，接続が正しければ

「電話回線が正常に接続されたことを確認しました。」と表示されます。

決定 押す。

終了 押す。　　通常画面になります。

接続が正しくない場合

●「ダイヤルトーンの検出ができませんでした。電話機コードが正しく接続されているか確認してください。」と表示されます。
➡ p.5「親機の設定」,「子機の設定」およびBSディジタルチューナーの取扱説明書p.101～107「電話回線の設定」にしたがって再度確認してください。

●「ダイヤルトーンは検出できましたが,ダイヤル方式の判定ができませんでした。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」と表示されます。
➡ BSディジタルチューナーの取扱説明書 p.101～102「ダイヤル方式の設定」にしたがって正しく設定してください。

電話機として使用する

子機のイヤホンマイク端子に，市販の携帯電話用イヤホンマイクを接続すると，簡易的なワイヤレス電話機として使用できます。

ご注意

発信専用ですから，電話をかけることはできますが，着信を受けることはできません。

子機の操作

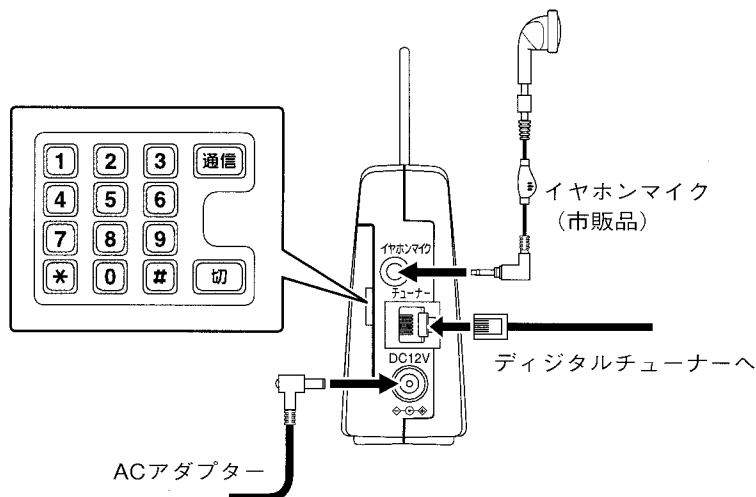
① イヤホンマイクを接続する。

イヤホンマイク端子に，イヤホンマイクを差込みます。

② ダイヤルボタンカバーを開ける。

③ [通信] 押す。

通信回線が確立（接続）されると，「通信可表示灯」（赤）と「通信中表示灯」（黄）が点灯します。
（ザーと聞こえていたノイズが聞こえなくなります。）

「通信可表示灯」（赤）が点灯していないときは,子機と親機の位置を動かして，点灯する場所を選んでください。

ご注意

イヤホンマイクは，3極ジャック用をお使いください。4極ジャック用は接続できません。

④ テンキーで電話番号をダイヤルする。

通常の電話と同じように，通話できます。

⑤ 通話が終わったら [切] 押す。

「通信可表示灯」（赤）と「通信中表示灯」（黄）が消えていることを確認してください。

⑥ イヤホンマイクを取外す。

ご注意

- 通話が終了したら，必ず [切] ボタンを押して通話の終了処理をおこなってください。終了処理をしないと，ディジタルチューナーの有料放送の料金管理や，モジュラー分配器に接続している電話機が使用できなくなります。
- 通話が終了したら，イヤホンマイクを必ず取外してください。イヤホンマイクから雑音が入り，通信が正常にできなくなることがあります。

⑦ ダイヤルボタンカバーを閉める。

故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
通信ができない	電波が届かない。 ［「通信可表示灯」(赤)が点灯しない］	●アンテナを垂直に立てる。 ●親機と子機の距離を縮める。(通信可能距離は見通し距離で約40mです) ●親機または子機を高い所に設置する。 ●親機と子機の間に金属製の障害物（扉・金属箔付の断熱材など）が無いようにする。
	親機と子機が逆になっている。	親機をモジュラーコンセントに，子機をディジタルチューナーに接続する。
	ディジタルチューナーのダイヤル方式が間違っている。	ディジタルチューナーの「ダイヤル方式」を「10PPS」に設定する。
	親機のダイヤル方式が間違っている。	ご使用の電話回線の種類に合わせて，ダイヤル方式選択スイッチを設定する。
	電話交換機を使っている。 (外線に電話するとき，「0」や「#」を押す必要がある。)	ディジタルチューナーの「外線発信番号の設定」で，外線発信番号「0」・「#」などを設定する。
	ターミナルアダプター(TA)を使っている。	ご使用のディジタルチューナーによっては，ターミナルアダプターに親機を接続して使用すると，通信ができなくなることがあります。詳しくはチューナーのメーカーにお問合わせください。

規格表・付属品・保証書について

規格表 Specifications

MASPRO

項目 *Items*	規格
ダイヤル方式 *Phone System*	パルス回線／トーン回線 (通信速度：2400bps)
通信可能距離 *Communicable Distance*	約40m（見通し距離）
電源 *Power Requirements*	AC100V　50・60Hz（付属ACアダプターを使用）
消費電力 *Power Consumption*	親機：待機時 2.3W　通信時 2.6W 子機：待機時 2.3W　通信時 3.3W
外観寸法 *Dimensions*	親機・子機とも 84（H）× 185（W）× 34（D） mm [アンテナを垂直に立てたときの(H)は241mm]
質量（重量） *Weight*	親機・子機とも 約 200 g（ACアダプターを含まず）

マスプロの規格表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

付属品

モジュラーコード（1m）……………… 1本
ACアダプター ………………………… 2個

保証書について

●このワイヤレスユニット**WU2M**には保証書がついています。保証書は購入店でお渡しいたします。
必ずお受取りください。

●万一故障したときは，保証書記載内容により，保証期間内は無料修理いたします。
保証書記載内容をご確認のうえ，大切に保存してください。

●保証書にお買いあげ日，販売店名など所定事項の記入がないと無効となります。
もし記入がないときは，すぐに購入店にお申出ください。

MASter of PROduction 生産の叡智

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

マルチメディアの
＝マスプロ電工＝

本社〒470-0194（本社専用番号） 愛知県日進市浅田町
営業部 TEL名古屋(052)802－2244
技術相談 〃 (052)805－3366
インターネットホームページ www.maspro.co.jp

支店・営業所
沖縄 (098) 854-2768
鹿児島 (099) 226-9200
宮崎 (0985) 25-3877
熊本 (096) 381-7626
長崎 (095) 846-6872
福岡(支) (092) 531-3861
北九州 (093) 941-4026
下関 (0832) 55-1130
徳山 (0834) 32-2954
広島 (082) 230-2351
松江 (0852) 21-5341
岡山 (086) 252-5800
松山 (089) 973-5656
高知 (088) 882-0991
高松 (087) 865-3666
姫路 (0792) 34-6669
神戸 (078) 843-3200
大阪(支) (06) 6635-2222
工事営業部 (06) 6632-1144
京都 (075) 341-0595
和歌山 (073) 473-8867
津 (059) 234-0261
岐阜 (058) 275-0805
名古屋(支) (052) 802-2233
工事営業部 (052) 804-6262
豊橋 (0532) 33-1500
静岡 (054) 283-2220
松本 (0263) 57-4625
福井 (0776) 23-8153
金沢 (076) 249-5301
新潟 (025) 287-3155
横浜 (045) 784-1422
渋谷(支) (03) 3409-5505
工事営業部 (03) 3499-5631
秋葉原 (03) 3255-7335
青戸 (03) 3695-1811
八王子 (0426) 37-1699
千葉 (043) 232-5335
さいたま (048) 663-8000
前橋 (027) 263-3767
水戸 (029) 248-3870
宇都宮 (028) 660-5008
郡山 (024) 952-0095
仙台 (022) 786-5060
盛岡 (019) 641-1681
秋田 (018) 862-7523
青森 (017) 742-4227
函館 (0138) 53-7355
札幌 (011) 782-0711
釧路 (0154) 23-8466
旭川 (0166) 25-3111
北見 (0157) 61-0480

2K55-258
B-14-4258-1L
APR., 2001